

大腸がん検診（便潜血検査）

便に混じった目に見えない微量な血液を検出する検査です。食事制限もなく自宅で行える手軽な検査です。大腸がんは近年増加傾向にあり、40歳代後半からかかる人が増加し始め、高齢になるほどかかりやすくなります。

※令和7年度から、健康診査との同時受診で、町内医療機関でも受診ができるようになります。

- 検査容器をお渡しするので、自宅で2日分の便を採取し(集団検診:保健福祉センター、富来支所、医療機関検診(個別検診):受診医療機関へ)提出してください。
- 随時、保健福祉センター、富来支所で検査容器を発行します(6月4日～11月末まで)。
- 胃バリウム検査を受けた人は、1週間後から便を採取してください。
- 生理期間中の人は採便しないでください。

肝炎ウイルス検診（B型・C型肝炎ウイルス検査）

肝炎の早期発見・早期治療を目的に血液検査します。ウイルス感染に気づかず放置していると、命にかかわる肝硬変や肝がんなどに進行する可能性があります。少なくとも一生に一回は検査を受けましょう。

前立腺がん検診（血液検査）

血液中にある前立腺に特異的なタンパク質の一種「PSA」の値を測定します。前立腺がんは、男性のがんで50歳を過ぎると急増しています。健康診査との同時受診で、町内医療機関でも受診ができます。

子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診）

検診バスに乗って受診します。子宮頸部の細胞をとって調べる検査です。子宮頸がんは、20歳代後半から増え始め、30～40歳代で多く、近年増加傾向にあります。また、女性がんの中でもかかることが比較的多いがんです。

乳がん検診（マンモグラフィ検査）

検診バスに乗って乳房のエックス線撮影を行う検査です。乳がんは、20歳代後半から増え始め、40歳代以降多くなり、40～50歳代女性の死亡原因の上位に位置しています。

※令和7年度より40歳代は2方向、50歳以上は1方向の撮影を行います。

★ 注意事項 ★

【胃がん・肺がん・乳がん検診を受ける際】

- 当日の服装は、着脱しやすいもの、金属・プラスチック類(ボタン・ホック・ファスナー)やプリントのないものを準備いただくと便利です。
- 妊娠中、または妊娠の疑いがある人は受診できません(授乳中の人は要相談)。
- インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着している人は受診できません。

【検診バスに乗って受診をする検診】(胃がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診)

- 転倒など身体への危険が予想される場合は、医療機関検診(個別検診)をおすすめします。

検診の結果、精密検査が必要となった場合には、必ず精密検査を受診してください。検診はがん発見等に有効な検査ですが、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないことや、がんでなくても要精密検査と判定されることがあります。

【問い合わせ先】 志賀町保健福祉センター TEL0767-32-0339